

# 平成27年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査 鹿児島県結果分析(概要版)

平成28年3月

鹿児島県教育委員会

## ◆ 全体構成

- 県全体の調査結果(公立)
  - 1 実技に関する調査結果概要
  - 2 運動習慣等に関する調査結果概要
  - 3 生活習慣等に対する調査結果概要
  - 4 運動やスポーツ, 体育・保健体育の授業に関する調査結果概要
  - 5 全体考察
  - 6 改善のポイント
- 地区別の結果概要
- 市町村別の調査結果(39市町の調査結果を掲載)

# 県全体の調査結果〔公立〕

## 本県の調査実施状況

### 1 調査の期間

平成27年4月～7月末

### 2 調査の概要

- 調査方法：悉皆調査
- 対象学年：小学校第5学年，特別支援学校小学部第5学年  
中学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年
- 調査事項
  - 児童生徒に関する調査
    - ・ 実技に関する調査：小学校・中学校ともに8項目の実技調査  
(握力，上体起こし，長座体前屈，反復横とび，50m走，立ち幅とび，  
ボール投げ，20mシャトルラン(中学校は持久走との選択))
    - ・ 運動習慣や運動への興味・関心に関する質問紙調査
  - 学校に対する質問紙調査
    - ・ 子供の体力向上に係る取組等に関する調査

### 3 本県調査参加校及び参加児童生徒数

○ 小学校	： 506校	14, 547人
○ 中学校	： 215校	13, 936人
○ 特別支援学校	： 4校	41人
計		725校 28, 524人

# 1 実技に関する調査結果概要

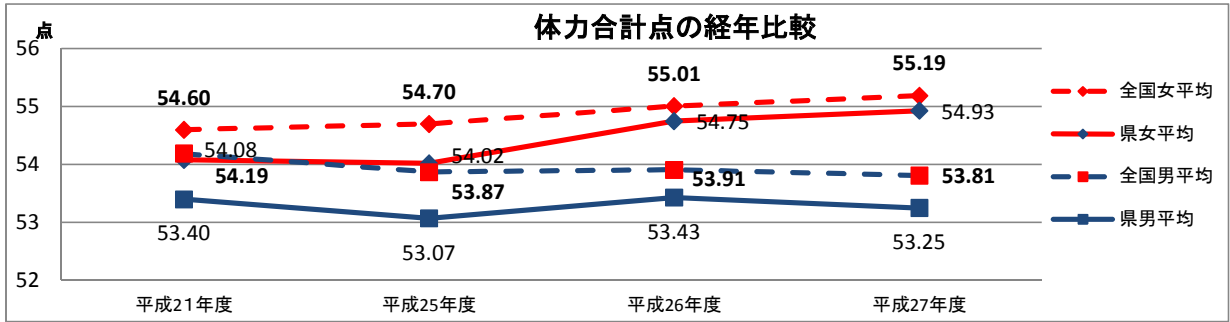
平成20年度は希望調査，平成22・24年度は抽出調査，平成23年度は東日本大震災による中止のため省略

## (1) 本県の体力合計点に関する調査の結果

ア【小学校】 過去最低は下線 過去最高は色塗り

小学校		平成21年度(悉皆調査)			平成25年度(悉皆調査)			平成26年度(悉皆調査)			平成27年度(悉皆調査)		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
5年男子	5年男子	53.40	54.19	-0.79	<u>53.07</u>	53.87	-0.80	53.43	53.91	-0.48	53.25	53.81	-0.56
	5年女子	<u>54.08</u>	54.60	-0.52	54.02	54.70	-0.68	54.75	55.01	-0.26	54.93	55.19	-0.26

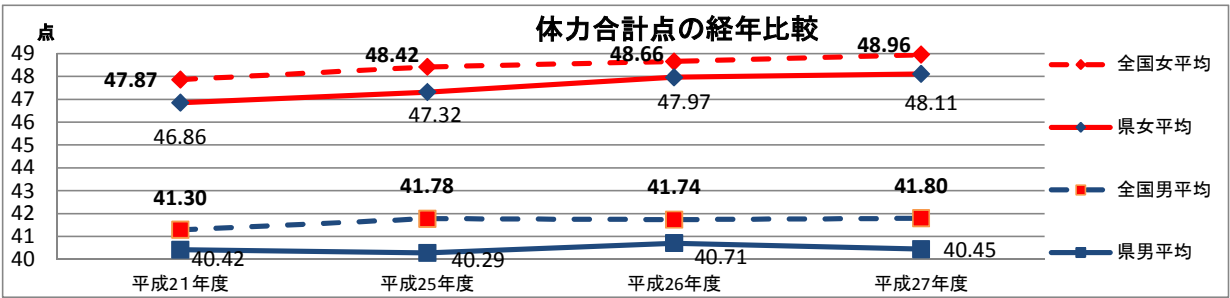
※ 体力合計点考察コメント(スポーツ庁)  
 ±1点以上:高(低)い ±0.5~1点未満:わずかに高(低)い ±0.5点未満:ほとんど差がない



〈現状及び課題〉  
 平成27年度の本県小学校の体力合計点の平均は、男子が53.25点、女子が54.93点であった。全国平均と比較すると男子が-0.56点で「わずかに低い」、女子が-0.26点で「ほとんど差がない」結果であった。  
 女子は、調査開始以降最も高い値であったが、男子は、平成26年度の平均を0.18点下回った。男子は、全国との差が広がっている

イ【中学校】 過去最低は下線 過去最高は色塗り

中学校		平成21年度(悉皆調査)			平成25年度(悉皆調査)			平成26年度(悉皆調査)			平成27年度(悉皆調査)		
		県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差	県平均	全国平均	県平均の全国平均との差
2年男子	2年男子	40.42	41.30	-0.88	<u>40.29</u>	41.78	-1.49	40.71	41.74	-1.03	40.45	41.80	-1.35
	2年女子	<u>46.86</u>	47.87	-1.01	47.32	48.42	-1.10	47.97	48.66	-0.69	48.11	48.96	-0.85



〈現状及び課題〉  
 平成27年度の本県中学校の体力合計点の平均は、男子が40.45点、女子が48.11点であった。全国平均と比較すると男子が-1.35点で「低い」、女子が-0.85点で「わずかに低い」結果であった。  
 女子は、調査開始以降最も高い値であったが、男子は、平成26年度の平均を0.26点下回った。男女とも、全国平均との差が広がっている

## (2) 体力合計点の度数分布

### 体力合計点の度数分布のグラフについて

※ 体力合計点の総合評価は、実技項目(8項目)の記録を、1点から10点に得点化し、その8項目の合計点をA, B, C, D, Eの段階に区分したものです。

○小学校 A:65以上 B:58~64 C:50~57 D:42~49 E:41以下

○中学校 A:57以上 B:47~56 C:37~46 D:27~36 E:26以下

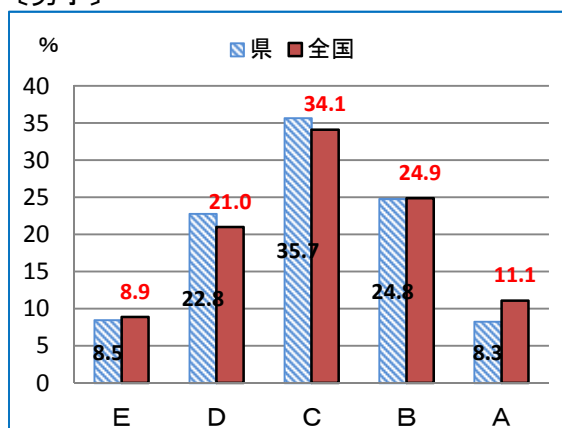
※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示しています。

※ 体力合計点考察コメント(スポーツ庁)

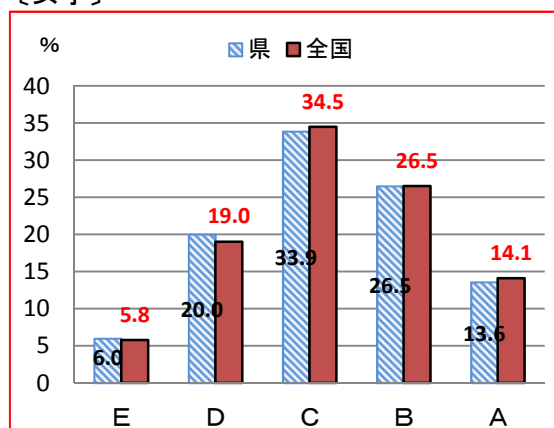
±1点以上:高(低)い ±0.5~1点未満:わずかに高(低)い ±0.5点未満:ほとんど差がない

### ア【小学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕

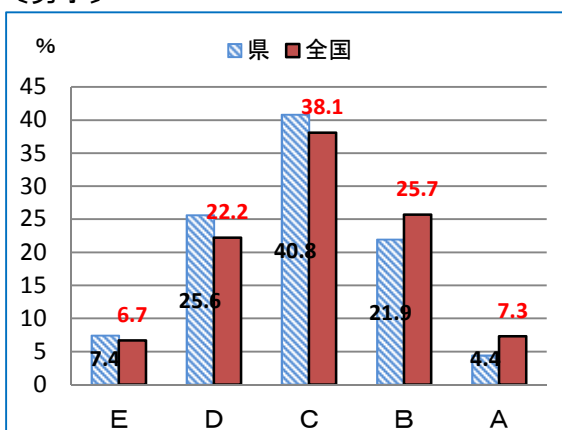


#### 〈現状と課題〉

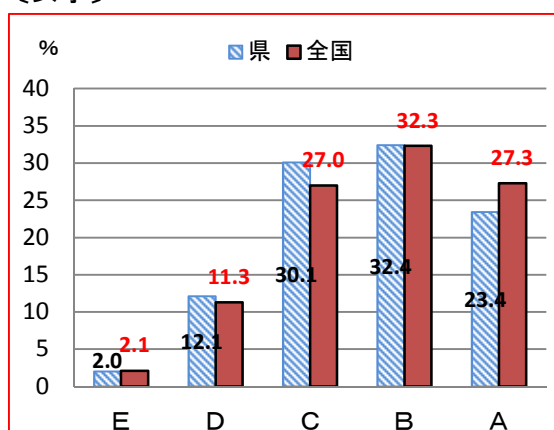
小学校男女の体力合計点の分布を全国と比較すると、男女ともにAの割合が少ない。また、男子はC, Dの割合が高く、女子はD, Eの割合が高い。

### イ【中学校】

#### 〔男子〕



#### 〔女子〕



#### 〈現状と課題〉

中学校男女の体力合計点の分布を全国と比較すると、男女ともにAの割合が少ない。また、男子はC, D, Eの割合が高い。女子は、B, C, Dの割合が高い。

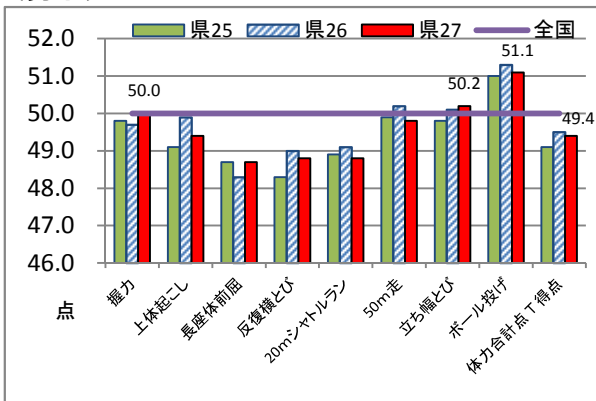
### (3) 各実技調査項目のT得点結果について

#### 各実技調査項目のグラフについて

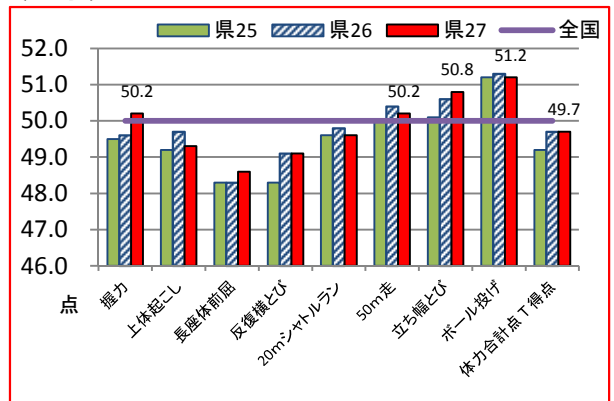
- ※ 実技調査項目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学校は、持久走との選択)、50m走、立ち幅とび、ボール投げの8項目、及び体力合計点のT得点を示したものです。
- ※ T得点とは、全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較するものです。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」で算出します。
- ※ グラフ上の50.0の目盛り線は、全国のT得点を表しています。

#### ア【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕

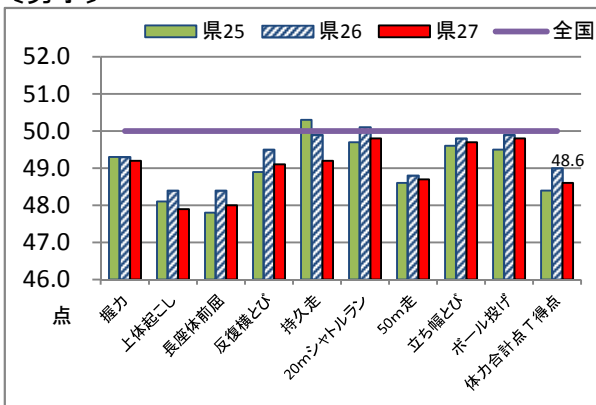


#### 〈現状及び課題〉

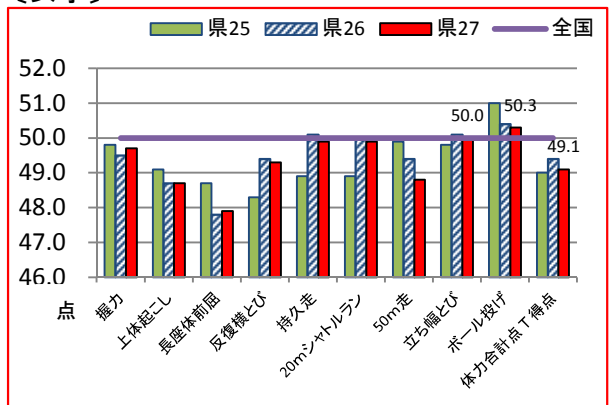
T得点50以上の実技調査項目は、男子が握力、立ち幅とび、ボール投げの3項目、女子が握力、50m走、立ち幅とび、ボール投げの4項目であった。  
 前年度と比較すると男子は、握力、長座体前屈、立ち幅とびの3項目の記録が向上した。女子は、握力、立ち幅とびの2項目が向上した。  
 長座体前屈のT得点は、男女ともに3年連続して49以下であり、柔軟性に課題がある。

#### イ【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



#### 〈現状及び課題〉

T得点50以上の実技調査項目は、男子は1つもなく、女子が立ち幅とび、ボール投げの2項目であった。  
 男女ともに、前年度から記録が向上した項目はなかった。  
 長座体前屈のT得点は、男女ともに3年連続して49以下であり、柔軟性に課題がある。  
 また、男子は上体起こし、50m走のT得点、3年連続して49以下であり、筋持久力、瞬発力に課題がある。

## 2 運動習慣等に関する調査結果概要(本編6～11ページ)

### (1) 1週間の運動時間に関する調査の結果

#### 運動時間(曜日別)グラフについて

※ 運動時間は、学校の体育の授業(保健体育)の授業以外で運動(体を動かす遊びを含む※注)やスポーツをした時間です。

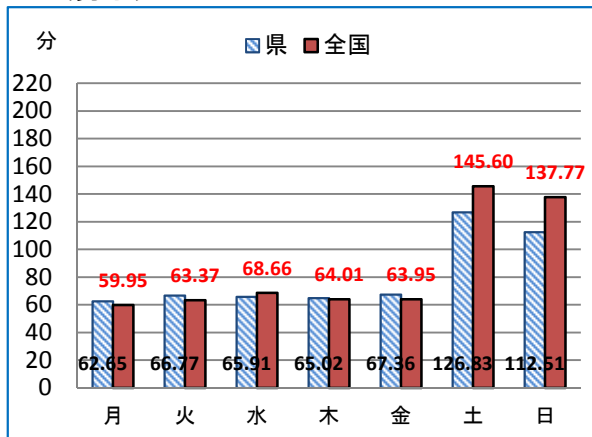
※注(体を動かす遊びを含む)の文言は、平成26年度の質問から追加されたものです。

※ グラフの横軸は、曜日を示しています。

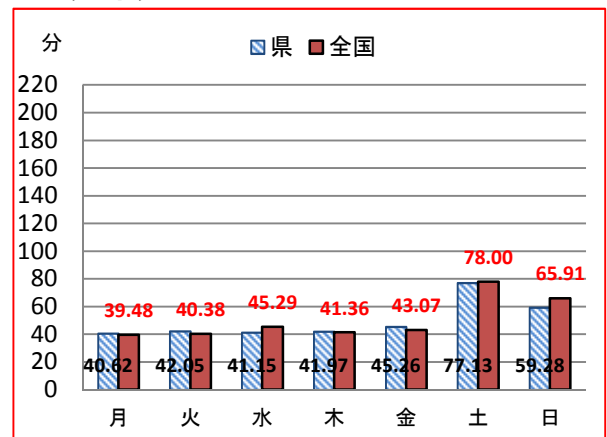
※ グラフの縦軸は、それぞれの運動時間(分)を示しています。

#### ア【小学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



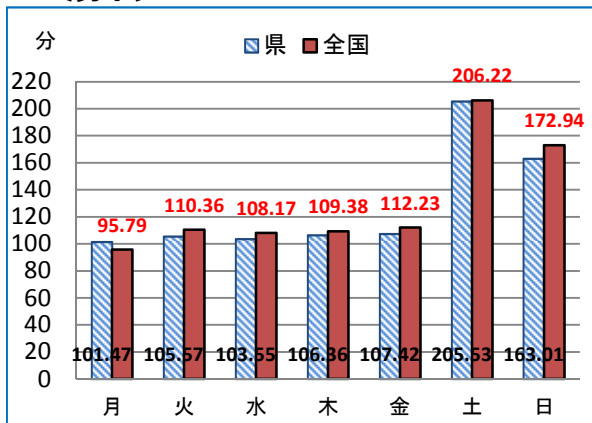
#### 〈現状及び課題〉

小学校男女の1週間の運動時間を全国平均と比較すると月曜日から金曜日までの運動時間に差はみられない。

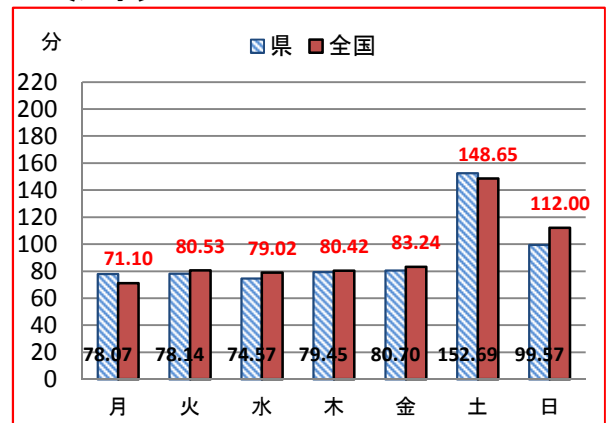
男子において、全国平均より土曜日で18分、日曜日で25分短く、土曜日、日曜日に運動する機会や時間を確保する必要がある。

#### イ【中学校】

##### 〔男子〕



##### 〔女子〕



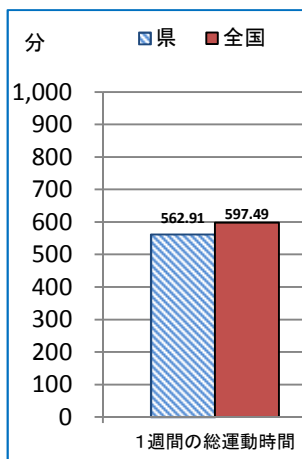
#### 〈現状及び課題〉

中学校男女の1週間の運動時間を全国平均と比較すると月曜日はわずかに長いですが、火曜日から金曜日までは短い。

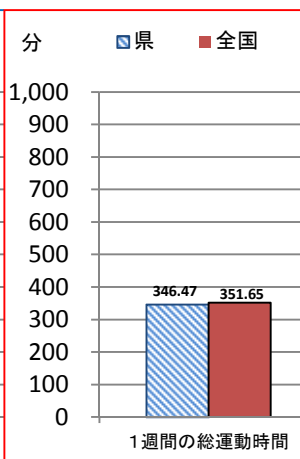
日曜日の運動時間は、全国平均より男子で9分、女子で12分短く、小学校と同様、運動する機会や時間を確保する必要がある。

(2) 1週間の総運動時間の平均に関する調査の結果

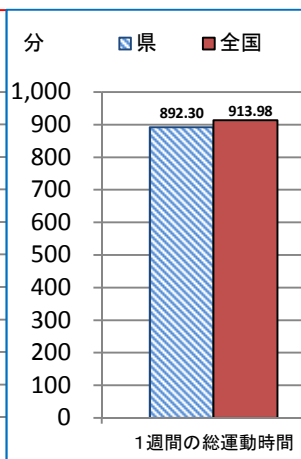
ア 【小学校】  
〔男子〕



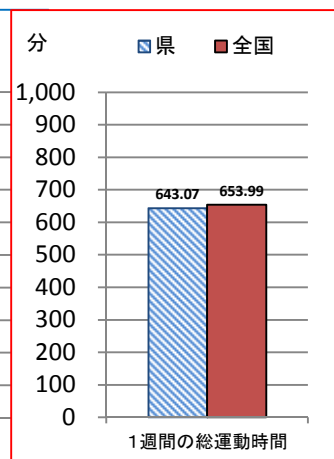
〔女子〕



イ 【中学校】  
〔男子〕



〔女子〕



〈現状及び課題〉

小中学生の1週間の総運動時間は、小学校男子で562分、女子で346分、中学校男子で892分、女子で643分であった。

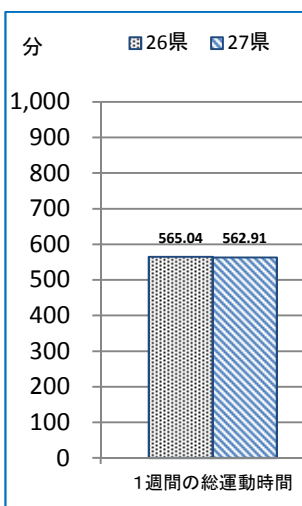
全国平均と比較すると、小学校男子において-34分、中学校男子において-21分となっており、「わずかに短い」結果であった。小学校女子-5分、中学校女子で-10分となっており、「ほとんど差がない」結果であった。

※ 1週間の総運動時間(分)の考察コメント(スポーツ庁)

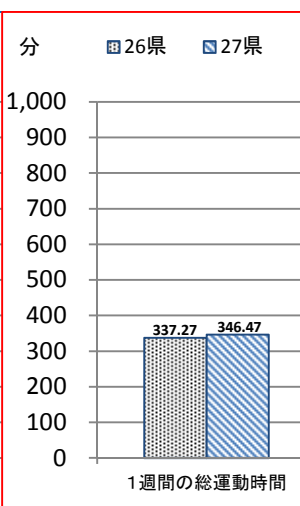
±35分以上:長(短)い ±21分~±35分未満:わずかに長(短)い ±21分未満:ほとんど差がない

(3) 1週間の総運動時間の前年度との比較

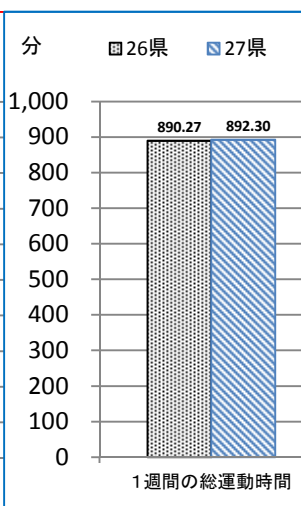
ア 【小学校】  
〔男子〕



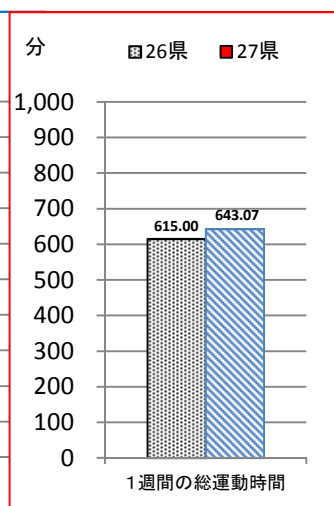
〔女子〕



イ 【中学校】  
〔男子〕



〔女子〕



〈現状及び課題〉

小中学生の1週間の総運動時間を前年度と比較すると、小学校男子-2分、女子で+9分、中学校男子で+2分、女子で+28分であった。

中学校女子においては、前年度の平均値より「わずかに長い」結果となっており、改善が見られる。小学校男女、中学校男子においては「ほとんど差がない」結果であった。



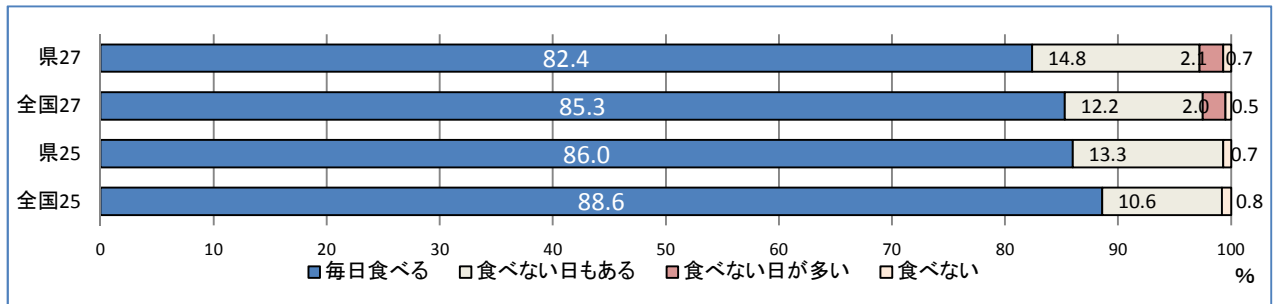
### 3 生活習慣等に関する調査結果概要(本編12・14ページ)

#### (1) 朝食の摂取状況(学校が休みの日も含める)の結果(質問紙調査票⑧)

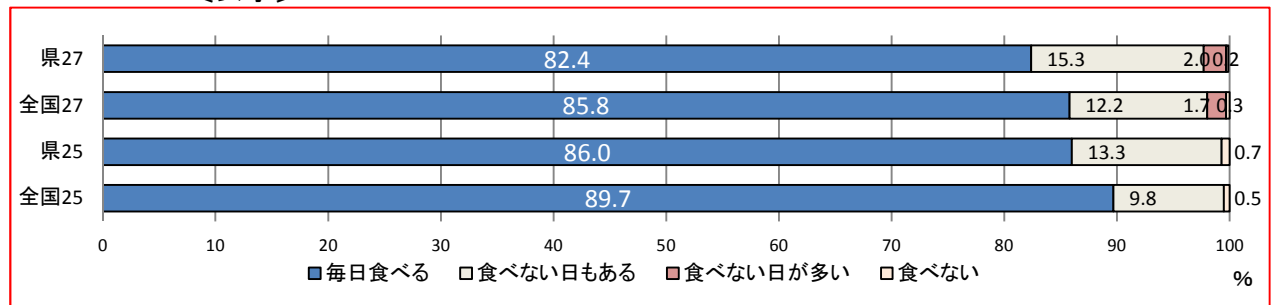
※ 質問紙調査考察コメントの基準(文部科学省)

±2%以上:高(低)い ±1%~±2%未満:わずかに高(低)い ±1%未満:ほとんど差がない

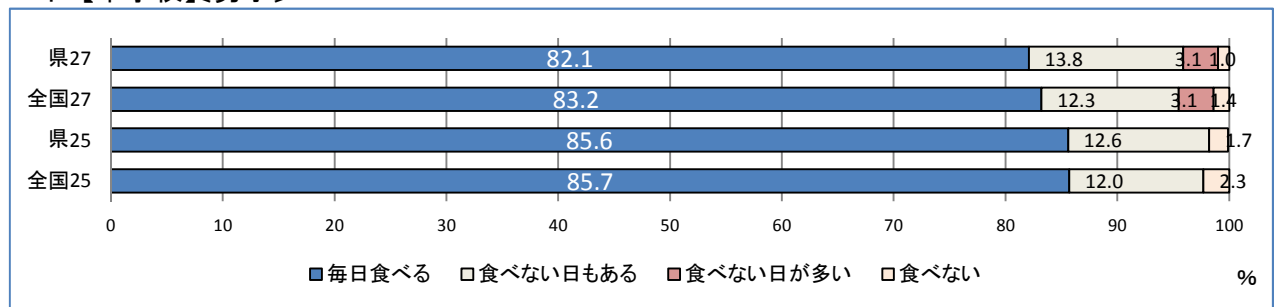
ア【小学校】〔男子〕 26年度は質問項目無し



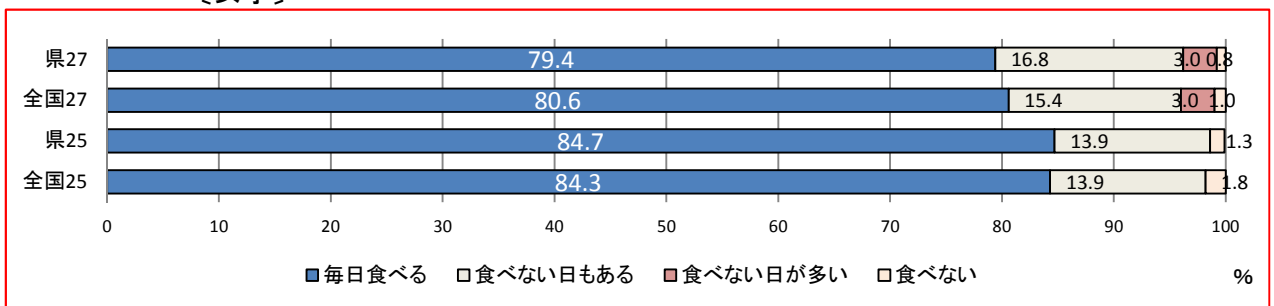
〔女子〕



イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕



#### 〈現状及び課題〉

##### 【小学校】

朝食を「毎日食べる」と回答した割合を全国平均と比較すると、男子が-2.9ポイント、女子が-3.4ポイントと男女とも低かった。また、県の前前年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合が男女とも、3.6ポイント減少している。

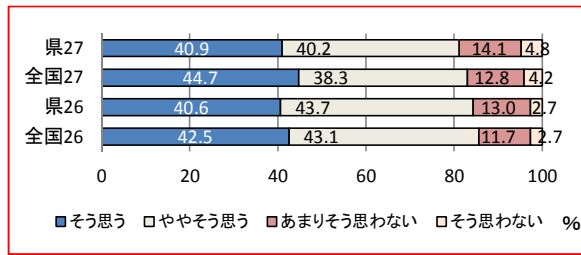
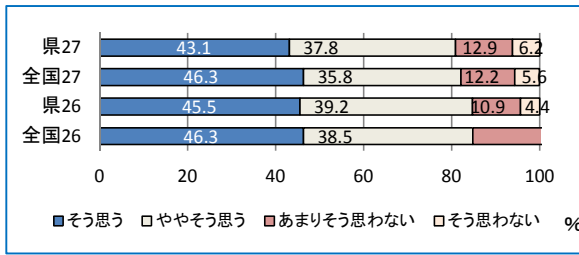
##### 【中学校】

朝食を「毎日食べる」と回答した割合を全国平均と比較すると、男子が-1.1、女子が-1.2ポイントと男女とも低かった。また、県の前前年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合が男子では3.5ポイント、女子では5.3ポイント減少している。

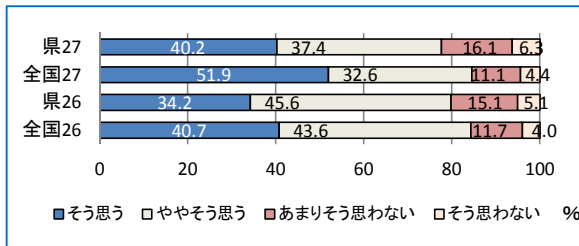


#### 4 運動やスポーツ, 体育・保健体育の授業に関する調査結果概要(本編15~22ページ)

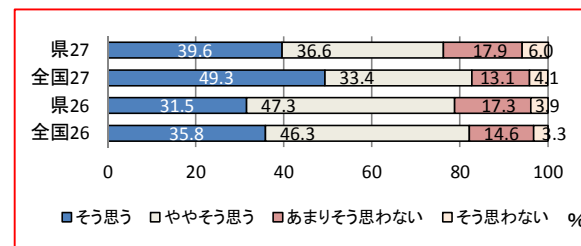
##### (1) 体育(保健体育)の授業の始めに目標が示されているか(質問紙調査票小学校⑳, 中学校㉑) ア【小学校】[男子] [女子]



##### イ【中学校】[男子]



##### [女子]



##### 〈現状及び課題〉

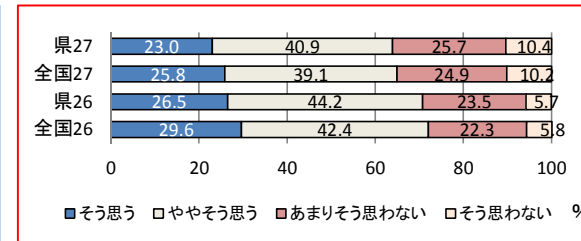
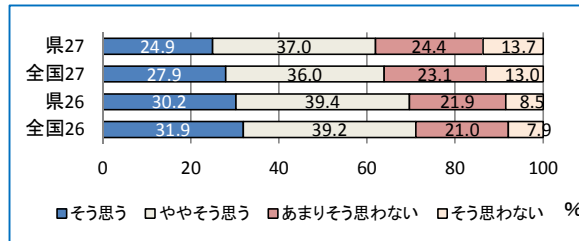
###### 【小学校】

体育の授業の始めに「目標が示されている」と回答している児童の割合を全国平均と比較すると、男子で-3.2ポイント、女子で-3.8ポイントと低かった。また、県の前年度平均と比較すると「目標が示されている」と回答した割合は、男子は2.4ポイント減少しているが、女子は0.3ポイント増加している。

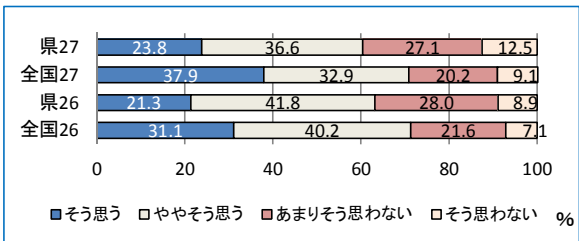
###### 【中学校】

保健体育の授業の始めに「目標が示されている」と回答している生徒の割合を全国平均と比較すると、男子で-11.7ポイント、女子で-9.7ポイントと低かった。また、県の前年度平均と比較すると「目標が示されている」と回答した割合は、男子は6ポイント、女子で8.1ポイント増加している。

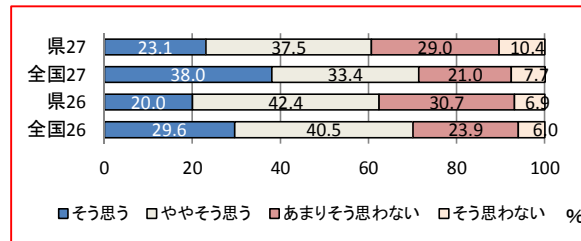
##### (2) 授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていると思うか(質問紙調査票小学校㉒, 中学校㉓) ア【小学校】[男子] [女子]



##### イ【中学校】[男子]



##### [女子]



##### 〈現状及び課題〉

###### 【小学校】

体育の授業の最後に「学習内容を振り返る活動を行っている」と回答している児童の割合を全国平均と比較すると、男子で-3ポイント、女子で-2.8ポイントと低かった。また、県の前年度平均と比較すると「学習内容を振り返る活動を行っている」と回答した割合は、男子は5.3ポイント、女子は3.5ポイント減少している。

###### 【中学校】

保健体育の授業の始めに「学習内容を振り返る活動を行っている」と回答している生徒の割合を全国平均と比較すると、男子で-14.1ポイント、女子で-14.9ポイントと低かった。また、県の前年度平均と比較すると「学習内容を振り返る活動を行っている」と回答した割合は、男子は2.5ポイント、女子で3.1ポイント増加している。

## 5 全体考察(本編23～26ページ)

### (1) 実技に関する調査から

#### 《体力合計点から》

- 小学校の平均は、男子が-0.56点と「わずかに低く」女子が-0.26で、「ほとんど差がない」結果であった。
- 小学校女子においては、平成21年度の本調査以降最高の得点であった。
- 中学校の平均は男子が-1.35点と「低く」、女子が-0.85点と「わずかに低い」結果であった。
- 中学校女子においては、小学校と同様、平成21年度の本調査以降最高の得点であった。
- 小学校の体力合計点の総合評価「A+B」-「D+E」の値を前年度比較すると、男子が-1.2ポイントと低くなっている。女子は、+2.4ポイントと高くなっており、体力の向上がみられる。
- 中学校の体力合計点の総合評価「A+B」-「D+E」の値を前年度比較すると、男子が-2.4ポイントと低くなっている。女子は±0ポイントで変化がなかった。
- 児童生徒の体力合計点は、小学校中学校男女ともに全国平均に達していないことから、体育・保健体育の授業を一層充実させるとともに、部活動の活性化や、家庭・地域との連携を深め、生涯にわたって、運動やスポーツをしようとする意欲を高めることが必要である。
- 特に、体力合計点の評価が「D、E」の児童生徒に対して、体育・保健体育の授業や学校行事等において、協力し合う楽しさや運動する心地よさ等を味わわせる取組を学校全体で取り組むことを期待したい。

#### 《実技調査から》

- T得点50以上の項目は、小学校では男子が握力、立ち幅とび、ボール投げの3項目であった。女子は握力、50m走、立ち幅とび、ボール投げの4項目であった。
- 中学校では、男子は0項目、女子が立ち幅とび、ボール投げの2項目であった。
- 長座体前屈のT得点は、小中学校の男女ともに、3年連続49以下となっており、長座体前屈(柔軟性)に課題がある。
- 中学校では、男子の上体起こし、50m走は3年連続で、女子の上体起こしは2年連続でT得点49以下であった。
- 新体力テストで、児童生徒がもっている力を正確に把握させるためには、真剣に、最後まで取り組ませることが大切である。そのためにも実施目的を理解させるとともに、全国・県の平均値や前年度の自分の記録等、目安となる目標を示したり、自分の伸びがわかるような6(3)年間の記録カードの作成したりするなど、一人一人の実態に即した事前・事後の指導が大切である。
- 新体力テストは、学校における体力・健康に関する指導の取組を評価する指標の1つであることから、自校の結果の成果と課題を分析するとともに、学校・学年における具体的な目標設定やたくましい“かごしまっ子”育成推進プランを見直し、学校教育活動全体で、また、全教職員でPDCAサイクルに基づいた実践が大切である。

(2) 運動習慣等に関する調査から

《平日の運動時間から》

- 小学校では、月曜日から金曜日までの運動時間に全国平均との差はみられなかった。
- 中学校では、月曜日はわずかに長いですが、火曜日から金曜日までは短い結果であった。

《土日の運動時間から》

- 小学校では、女子の運動時間に全国平均と差はみられなかったが、男子において、全国平均より土曜日で18分、日曜日で25分短い結果であった。
- 中学校では、男女とも土曜日は全国平均と差はないが、日曜日に短い傾向があり、男子で9分、女子で12分短い結果であった。

《1週間の総運動時間から》

- 小学校では、全国平均と比較すると男子で-34分、女子で-5分と男子において「短い」結果であった。
- 中学校では、全国平均と比較すると男子で-21分、女子で10分短く、男子において「わずかに短い」結果であった。

(3) 生活習慣等に関する調査から

《朝食の摂取状況から》

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合を全国平均と比較すると、小学校男子が-2.9ポイント、女子が-3.4ポイント、中学校男子が-2.1ポイント、女子が-1.2ポイントと小中学校の男女ともに低かった。
- 県の前前年度平均と比較すると「毎日食べる」と回答した割合が小学校では男女とも3.6ポイント、中学校男子が3.5ポイント、女子が5.3ポイント減少している。

(4) 運動やスポーツ、体育・保健体育の授業に対する意識に関する調査から

《運動やスポーツに関する意識調査から》

- 体育・保健体育の授業のはじめに目標が「提示されている」と回答した割合を全国平均と比較すると、小学校男女で約-3ポイント、中学校男女で約-10ポイントと低い結果であった。
- 体育・保健体育の授業の最後に「学習内容を振り返る活動を行っている」と回答した割合を全国平均と比較すると、小学校男女で約-3ポイント、中学校男女で約-14ポイント以上で低い結果であった。
- 小学校、中学校ともに、体育・保健体育の授業において「目標の提示」「学習のまとめ」がなされていると回答している児童生徒の割合が低いことから、児童生徒に目標を明確に示し、学習の見通しを持たせ、自らが運動の課題の解決を主体的に目指す学習活動を行えるような体育・保健体育の授業の充実が望まれる。

(5) 今後の取組について

### 《今後の方向性》

児童生徒が生涯にわたって「楽しく明るい生活を営む態度」を育てるために、「運動に親しむ資質や能力の育成」や「健康の保持増進及び体力の向上」への取組を具体的に進める必要がある。

そこで、本県の児童生徒は、運動への興味・関心や体育・保健体育の授業に対する意識が高いことから、学校において、教師が児童生徒の実態を真剣に受け止め、「めあての明確化」「運動量の確保」「確実なまとめの実施」を行うなど授業の充実を図るとともに、学校教育活動全体を通じた取組を一層推進する。

また、鹿児島体力コンソーシアムや関係機関と連携し、外部指導者の活用等を通して、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進する。

### 《今後の取組》

#### ◆ 学校の組織的な取組の推進を支援

- 各学校における「たくましい“かごしまっ子”」育成推進プランの作成、活用
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析と活用促進
- 体力ナビの積極的活用と児童生徒一人一人への体力カードの作成
- 学校体育に関する学校訪問の実施(小学校4校, 中学校4校)
- たくましい“かごしまっ子”育成推進校(中学校)による実践的取組の紹介
- 「児童生徒の体力を正しく把握するための新体力テスト実施方法手引」(改訂版)の作成
- 小中学校版「体力アップ! チャレンジかごしま」の継続実施

#### ◆ たくましい“かごしまっ子”育成に向けた運動の楽しさを追求した授業、体育指導の工夫改善の支援

- 「基礎から学ぶ」小学校女性教諭等体育セミナー(仮称)の実施
- 小中学校体育主任等研修会の充実
- 新任幼稚園教諭への「幼児期運動指針」についての研修
- たくましい“かごしまっ子”育成推進校(小学校3校, 中学校4校)による実践的研究及び研究公開
- たくましい“かごしまっ子”育成推進校(小学校3校, 中学校4校)への地域スポーツ人材の派遣
- かごしまの子ども体力向上プログラム(小学校版, 中・高等学校版)の活用促進
- 「学びの羅針盤」に基づいた共通実践

#### ◆ 運動習慣の育成に向け、学校・家庭・地域が一体となった取組を促進

- 体力向上や運動習慣形成の重要性についての啓発資料の作成
- 地域スポーツ人材を活用した運動習慣育成教室の拡大
- 体力向上推進フォーラムの実施(隔年開催)
- たくましい“かごしまっ子”育成推進校(第5期)研究公開による普及啓発

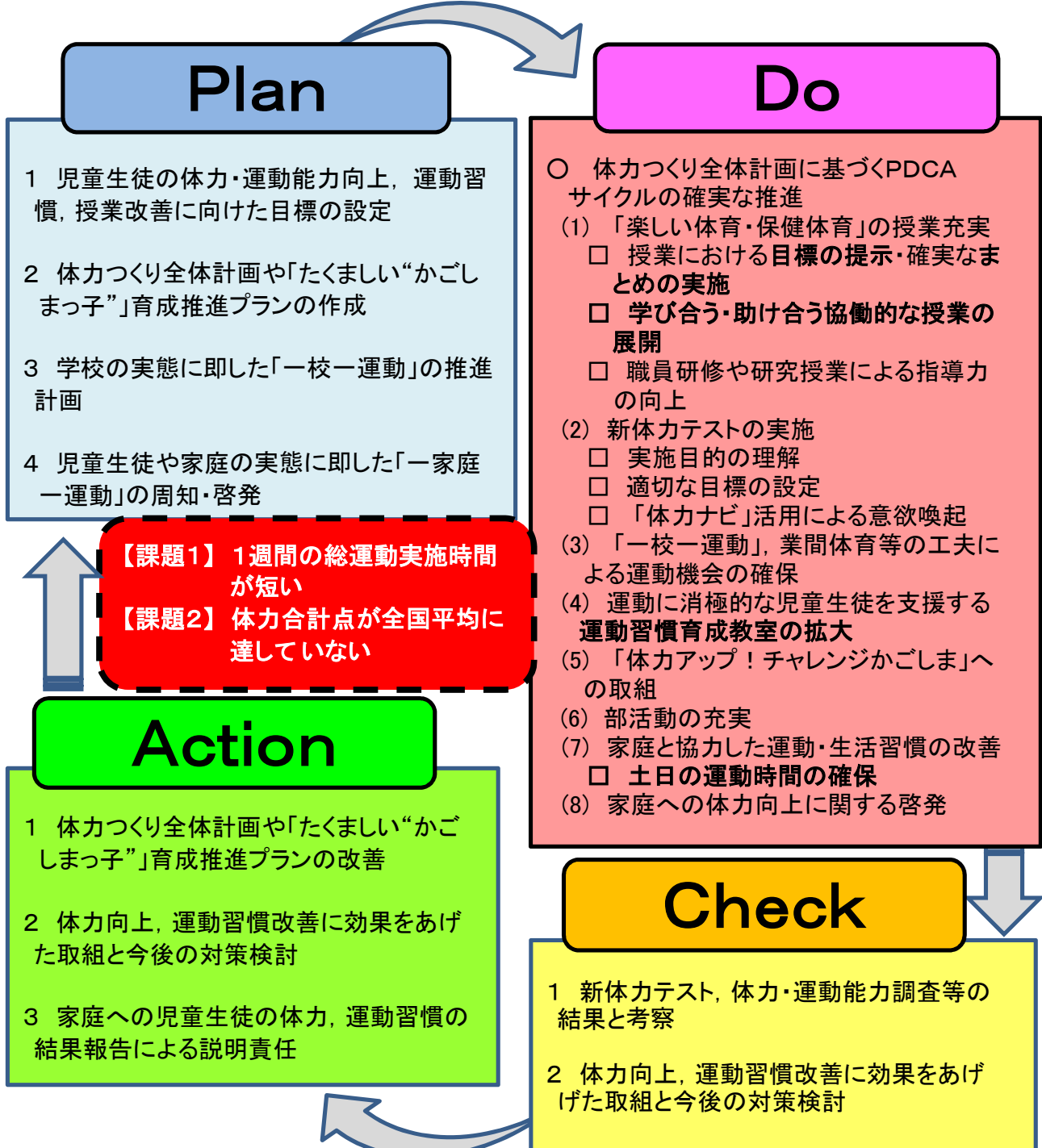
## 6 改善のポイント

### たくましい“かごしまっ子”育成に向けた学校における 体力向上、運動習慣改善のPDCAサイクル

県教育振興基本計画における数値目標達成を目指して

項目	実績				目標	
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
運動習慣等調査における1日のスポーツ実施時間1時間以上の児童生徒の割合(小中)	64.9%	※53.3%	※57.8%	※58.2%	67%	70%
体力テストでの、全国平均を100としたときの体力の数値(小中高)	96.5%	95.7%	97.5%	96.8%	99%	100%

※ 平成25年度から、「全国体力、運動能力、運動習慣等調査」の質問が変更になり1週間の運動時間合計を7で割った時間を基に算出





# 地区別調査結果の概要

地区名は教育事務所名です

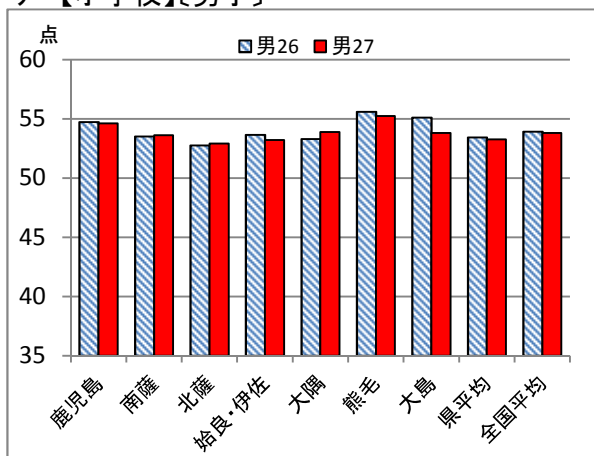
## 1 体力合計点平均値（点）

※ 体力テスト8項目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび20mシャトルラン（中学生は持久走との選択）、50m走、立ち幅とび、ボール投げ）各10点×8項目の80点満点

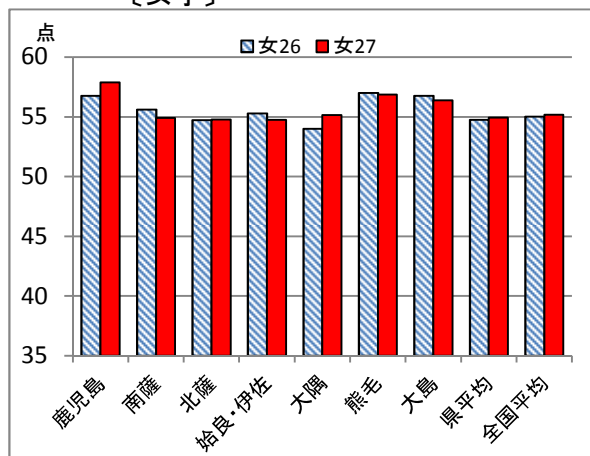
※ 太字は、前年より向上

地区名	鹿児島	南薩	北薩	姶良・伊佐	大隅	熊毛	大島	県平均	全国平均	
小学5年	男26	54.71	53.50	52.76	53.63	53.30	55.59	55.11	53.43	53.91
	男27	54.62	<b>53.61</b>	<b>52.90</b>	53.21	<b>53.88</b>	55.23	53.80	53.25	53.80
	女26	56.76	55.60	54.73	55.28	54.00	57.00	56.75	54.75	55.01
	女27	<b>57.88</b>	54.91	<b>54.77</b>	54.74	<b>55.15</b>	56.87	56.37	<b>54.93</b>	<b>55.18</b>
中学2年	男26	40.01	41.19	40.88	41.57	39.20	41.38	40.99	40.71	41.78
	男27	<b>40.04</b>	39.59	<b>41.65</b>	39.54	<b>39.71</b>	<b>41.78</b>	40.87	40.45	<b>41.89</b>
	女26	48.07	48.35	49.26	47.81	46.30	47.15	50.39	47.97	48.42
	女27	<b>49.22</b>	<b>48.55</b>	48.35	<b>47.95</b>	<b>47.16</b>	<b>50.04</b>	<b>51.95</b>	<b>48.11</b>	<b>49.08</b>

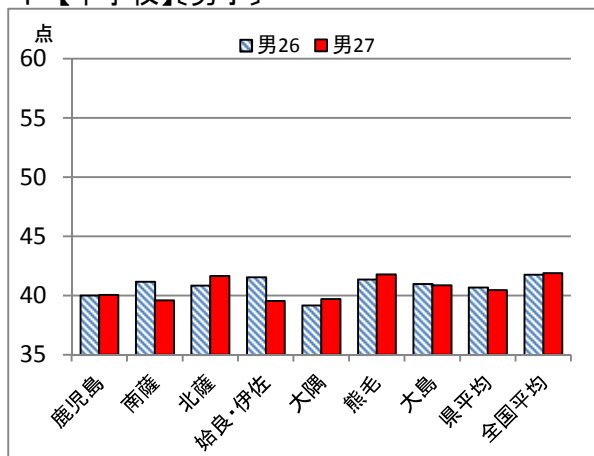
ア【小学校】〔男子〕



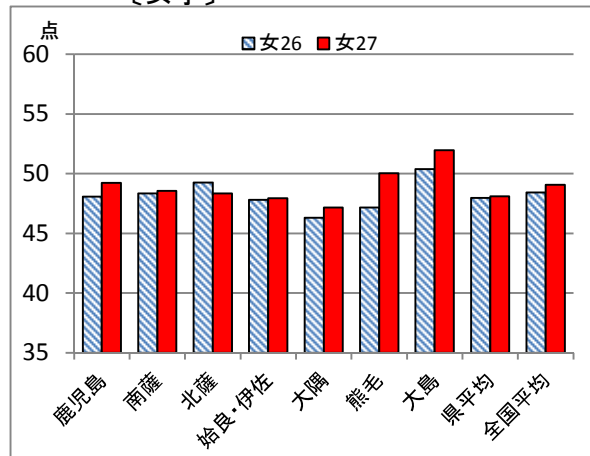
〔女子〕



イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕



# 地区別調査結果の概要

地区名は教育事務所名です

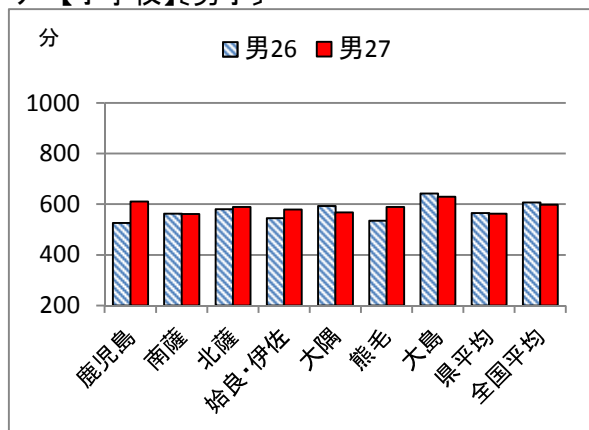
## 2 運動実施時間平均値(分)

※ 1週間の総運動実施時間は、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツで、体育の授業は含まない。

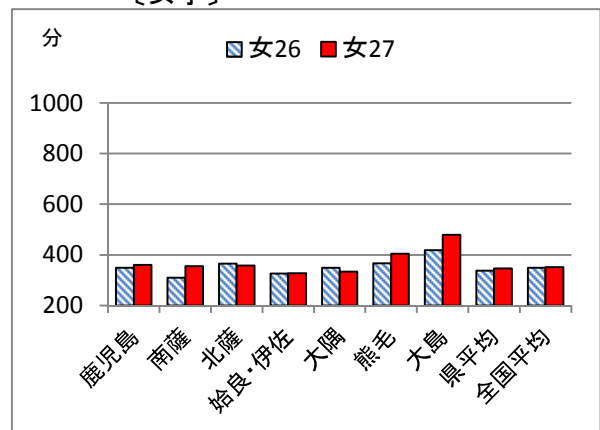
※ 太字は、前年より向上

地区名	鹿児島	南薩	北薩	始良・伊佐	大隅	熊毛	大島	県平均	全国平均	
小学5年	男26	526.14	562.86	580.58	544.98	593.55	534.39	642.34	565.04	607.23
	男27	<b>610.08</b>	561.06	<b>588.75</b>	<b>579.35</b>	568.10	<b>588.87</b>	629.64	562.91	597.49
	女26	348.94	310.16	365.63	326.30	348.95	366.76	418.33	337.27	348.77
	女27	<b>359.96</b>	<b>355.02</b>	358.07	<b>326.70</b>	333.70	<b>404.20</b>	<b>479.25</b>	<b>346.47</b>	<b>351.65</b>
中学2年	男26	933.83	856.32	884.72	847.64	900.15	920.30	894.74	890.27	920.35
	男27	909.79	823.95	<b>913.67</b>	847.16	<b>914.93</b>	<b>972.86</b>	<b>952.55</b>	<b>892.30</b>	913.98
	女26	647.64	581.62	649.24	587.98	645.77	572.22	675.27	615.00	644.59
	女27	625.19	<b>629.55</b>	<b>649.63</b>	<b>668.18</b>	637.50	<b>644.77</b>	<b>743.44</b>	<b>643.07</b>	<b>653.99</b>

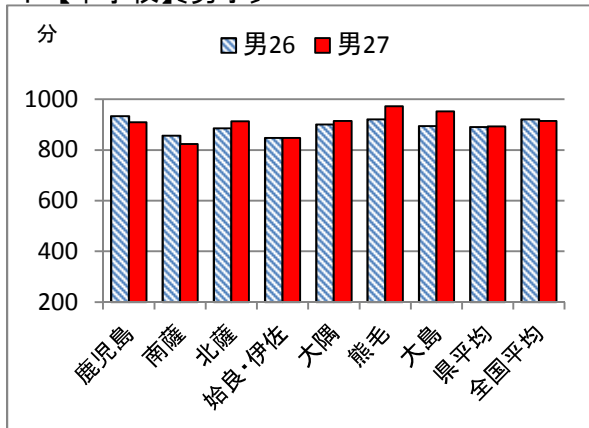
ア【小学校】〔男子〕



〔女子〕



イ【中学校】〔男子〕



〔女子〕

